

瑞巖寺宝物館 企画展

しいてい きずな

師弟の絆

— ざん おし —
— ころろでつながる禅の教え —

「中国禅宗祖師」
菩提達磨大師



「臨済宗開祖」
臨済義玄禪師



「花園・妙心寺開山」
関山慧玄禪師



「滴水下最初の瑞巖寺住職」
加藤隆芳老師



令和六年九月二十六日(木)

〜 令和七年一月十九日

(日)

拝観料

大人 700円

小・中学生 400円

30名以上の団体割引
障がい者割引 (介護者1名含む) あり

拝観時間

8:30-17:00 (9月)

16:30 (10月)

16:00 (11月)

15:30 (12, 1月)

※最終受付は閉門30分前

会場

瑞巖寺宝物館

〒981-0213
宮城県宮城郡松島町松島字町内91
TEL (022) 353-4486

[web site]



仏教は今から約2,500年前、釈尊しやくそんによって開かれた教えで、様々な宗派しゅうはがあります。瑞巖寺ずいがんじは現在、臨済宗妙心寺派りんざいしゅうみょうしんじはに属しており、いわゆる禅宗ぜんしゅうと呼ばれる宗派です。

禅宗は特定の本尊と経典を持たないことが特徴で、その教えは、心から心へと直接伝えられるものであるとする「以心伝心いしんでんしん」により、脈々と受け嗣みやくみやくがれてきました。師匠ししやうから弟子へと法が伝えられるので、考え方だけでなく、絵や字まで何もかもそっくりな師弟関係もあれば、全く似ていない師弟関係もあり、兄弟弟子でもそれぞれに違いがあります。

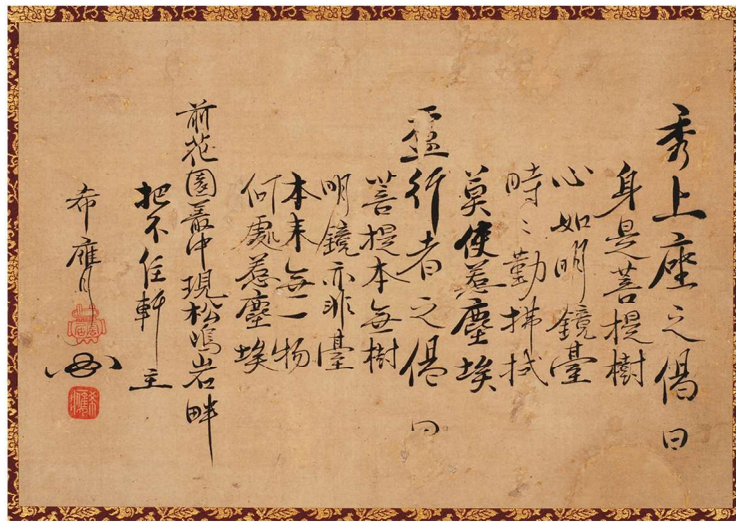
令和6年(2024)は、瑞巖寺128世・五雲軒・加藤隆芳かとうりゅうほう老師33回忌、その法を嗣がれた同129世・素雲軒・平野宗浄ひらのそうじよう老師23回忌にあたります。五雲軒老師の代に旧宝物館が造営され、素雲軒老師の代に新館が建設されており、瑞巖寺が所蔵する文化財の保存修復及び資料公開という面からも、二師の功績は計り知れません。この度、年忌に該当する二師の業績や宗風を顧みるとともに、祖師方の法の流れや師弟関係に焦点を当てた企画展を開催する運びとなりました。

師が弟子を導くための手段として揮毫された墨跡ぼくせきや絵画を、お時間の許す限りゆっくりとご覧いただき、先人達の足跡そくせきに学ぶ機縁となれば幸いに存じます。

【背景図版】拈華微笑 華翁宗浄筆



麟趾 滴水宜牧筆



神秀・慧能偈 雲居希膺筆



風炉先屏風「日々是好日」 華翁宗浄筆



宗派図 雲居希膺筆

【表図版(上から・全て部分)】
 半身達磨自画賛 盤龍禅礎筆
 臨済裁松図画賛 式景筆 雲居希膺賛
 関山慧玄像 筆者不明 洞水東初賛
 隆芳全昭像 筆者不明 大成道彦賛

国宝 瑞巖寺

〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字町内91
 TEL (022) 353-4486
 URL <https://www.zuiganji.or.jp/>

アクセス

・JR仙石線
 仙台駅から松島海岸駅(40分) 徒歩10分
 ・JR東北本線
 仙台駅から松島駅(25分) 徒歩25分

・自家用車
 三陸自動車道「松島海岸IC」より10分
 ※専用の駐車場はありません。お車で越しの方は
 近隣のコインパーキングをご利用ください。